

令和5年第1回 旭川市総合戦略検討懇談会 議事録

日時 令和5年9月6日(水) 午後6時00分から午後7時45分まで

場所 旭川市役所 議会棟 第1委員会室

出席者

・参加者(50音順)

赤松 昌輝 氏, 荒山 恭一 氏, 市川 陽一 氏, 小原 隆 氏, 加藤 健太 氏, 黒川 伸一 氏,
菅野 眞悟 氏, 種田 仁郎 氏, 福屋 聖恵 氏, 水上 崇 氏

・オブザーバー

北海道財務局旭川財務事務所長 吉沢 貢 氏

北海道開発局旭川開発建設部地域振興対策地域振興対策官 種市 永遠 氏

北海道運輸局旭川運輸支局首席運輸企画専門官 加茂 聖和 氏

北海道農政事務所総括農政推進官 舘下 輝一 氏

北海道経済産業局総務企画部企画調査課地域連携室課長補佐 田中 康弘 氏

北海道上川総合振興局地域創生部長 片岡 英善 氏

・事務局

総合政策部次長 北嶋 一雅

政策調整課課長補佐 狩野 大助

政策調整課主査 石田 直紀

政策調整課 竹内 駿介

政策調整課 森田 創

会議の公開・非公開

公開

傍聴者：4名

会議資料

- 資料 1 第 2 期総合戦略の数値目標及びKPI一覧等一式
- 資料 2 地方創生関連施策を活用した事業の実施状況の報告，検証について
- 資料 3 旭川市まち・ひと。しごと創生総合戦略改訂の方向性

会議次第

1 開会

2 議題

- (1) 第 2 期総合戦略の数値目標及びKPIの報告，検証について
- (2) 地方創生関連施策を活用した事業の実施状況の報告，検証について
- (3) 第 2 期総合戦略の改訂について
- (4) その他

1 開会

令和 5 年度第 1 回目の開催のため，事務局より参加者の紹介を行った。

2 議題

- (1) 第 2 期総合戦略の数値目標及びKPIの報告，検証について

【事務局】

資料 1 に基づいて，第 2 期総合戦略の数値目標及びKPIの報告，検証について説明を行った。

【進行役】

資料 1 について，委員の方々から御質問・御意見あれば発言願いたい。

【A氏】

前回，開催された令和 4 年度第 2 回総合戦略検討懇談会でも話をさせていただいたが，出生率の関係で，女性の若年層が転出すると分母が減り，それに伴い出生率も上がるため，出生数を成果指標にしてはどうか。

【事務局】

第 2 期総合戦略では出生率を数値目標として掲げているといるため，数値目標としては現状のままと考えている。出生数については事務局で各月の状況の把握はしている。

【A氏】

出生数もデータとして表すことで，現状が分かりやすくなると思う。

【事務局】

出生率と出生数との関係性が分かるような資料の作成方法を検討する。

【進行役】

新型コロナの影響により、令和4年の出生数が1624人と令和3年に比べて200人以上少なくなっていると思うが、令和5年の現時点の出生数はどうなっているのか。

【事務局】

7月1日付け時点で942人となっており、令和4年と同程度で推移している。

【進行役】

令和3年から4年にかけて、出生率は上がっているが、出生数は高校1校分減少しており、実際はかなり厳しいと感じている。

【B氏】

出生率は国と同程度だが、200人以上出生数が減ってしまっている要因は。また、市としての有効な施策については。

【事務局】

出生率が少し回復しているのにも関わらず、出生数が減っているのも、女性若年層の人口が減っていることが要因と認識している。施策としては、子育て支援施設waka・baのオープンやこども医療費の無償化などを実施しており、今後、展開していくことで、女性の転出を防いでいきたいと考えている。

【A氏】

資料1-3の観光客の滞在とリピート率増加に向けた街全体の魅力向上について、観光客のリピート率は目標達成しているとのことだが、どこでアンケート調査等を行っているのか。カムイスキーリンクスで調査してるイメージしかなく、そのため異常に高い数値になっているのはいか。旭山動物園をはじめとした観光施設では調査していないのか。

【事務局】

この場に具体的な調査場所の情報まで持ち合わせておらず、おそらく旭山動物園などだと思うが、確認して回答する（※確認した結果、旭山動物園434件、旭川空港2661件、旭岳ビジターセンター67件、層雲峡ビジターセンター65件、イオンモール旭川駅前店106件、旭川駅アクティビティセンター42件、旭川シティホテル懇話会に所属しているホテル20件と、各観光施設でアンケート（QRコード・ネット回答）を設置しており、回答数は計3,395件と分かった。）。新型コロナの影響によって、海外や道外の観光客は著しく減少したが、近場での旅行を楽しむ道内の観光客が増加し、リピート率が高くなっている可能性もある。

【C氏】

資料1－3 基本目標4 バスなど公共交通機能の充実について見直しとはどういうことか。

【事務局】

乗務員の減少や新型コロナの影響により、公共交通が取り巻く環境が変わってきており、KPIの数値も激減した状況となっている。本市としては、今年度地域公共交通計画の策定を予定しており、この策定内容に沿って施策を検討する必要があると考えており、現状の継続や発展という考え方はそぐわないため見直しとした。

【C氏】

バスは交通弱者の方々が多く利用しており、施策の見直しは慎重にお願いしたい。

【D氏】

道北バスと旭川電気軌道の会社の方からは、バスの運転手がいらない。それから、バスの維持費がとて高くなってると聞いている。今後、路線を維持しても本数は半分になったりすることが想定されるため、成果指標についても、適正なものを設定願いたい。

(2) 地方創生関連施策を活用した事業の実施状況の報告、検証について

【事務局】

資料2に基づき、地方創生関連施策を活用した事業の実施状況等に報告を行った。

【進行役】

資料2について、委員の方々から御質問・御意見あれば発言願いたい。

【D氏】

除排雪運行管理システムを搭載した除雪車を令和4年度は600台に拡大したとのことだが、現在、除雪車は何台ぐらいあるのか。

【事務局】

市からの貸し出し車両含めて交付金により機器導入した600台程度。

【A氏】

デジタル実装タイプの窓口のICT化について、窓口は全部電子化されるのか。

【事務局】

電子サインなどを活用し従来の書く作業の減少やペーパーレス化の推進を図っているということであり、窓口全部が電子化になったということではない。

【A氏】

新庁舎に移転したら、ワンストップ窓口などの次世代型の窓口システムは可能になるのか。

【事務局】

窓口システムや戸籍システム、住基のシステムなどを全て連携させなければいけないので、すぐには難しいが段階的に目指していくべきと考えている。

【C氏】

先ほど、今後除排雪車を600台にシステムを搭載とあったが、将来的にはオペレーターが減っていくとかの問題はないのか。

【事務局】

オペレーターを減らさないためにも、運転免許等の取得費用の助成など新しい担い手の育成につながる取組を実施し、確保していきたい。

【進行役】

ICTパークについて、新型コロナの影響により数値目標の達成は難しかったと思うが、一定の効果はあったということではよろしいか。

【事務局】

資料の目標値については、令和7年3月時点の最終目標の数値であり、情報通信業就職者数は令和4年度末の中間目標では6人で設定し現状値も6人のため、想定通り進んでいることから一定の効果はあったと考えている。なお、企業立地件数の現状値は7件だが、中間目標は12件なので想定を下回っている状況。

【A氏】

資料1-3の基本目標2，時代に即し，地域の特性を生かした企業誘致の促進にある，「地域の特性を生かした」はICTパークも地域の特性という見方をしてよろしいか。

【事務局】

ICTパークはこの地域ならではの施設と考えているので，そのように捉えていただいで問題ない。

【進行役】

ICTパークの企業対抗の太鼓の達人の参加来場者数は多いという認識でよろしいか。

【事務局】

ICTパークのキャパシティを考えるとまだ増やせる余地はあるが、コロナ明けのイベントで82名の参加があったことは成果があったものと考えている。また、eスポーツ施設も市民の方々にも浸透していくことで更に利用者等を増やすことは可能と考えている。

(3) 第2期総合戦略の改訂について

【事務局】

資料3に基づき、第2期総合戦略の改訂について説明した。

【進行役】

資料3について、委員の方々から御質問・御意見あれば発言願いたい。

【A氏】

基本目標2、大学等の活性化と企業等の連携による若者の地元就職の促進とあるが、企業が変わらなければ、地元の学生も就職先の選択肢にならないと思う。企業の魅力を作り出さなければいけない。そういった考え方も改訂案に入れてはどうか。

【事務局】

改訂案を策定する際の参考にさせていただく。

【A氏】

基本目標3の大雪圏域が連携した販路拡大とあるが、これは1市8町でやるというイメージでよろしいか。

【事務局】

1市8町の旭川大雪圏連携中枢都市圏を形成しており、その枠組みを使って進めていきたいと考えている。

【E氏】

基本目標3、スマート農業省力化技術導入支援事業については、急激に農家人口が減っていく中で、雇用環境を整える面で非常に重要であるが、農業の担い手が減っていき一定の面積を整備していかなければならない。先端的な技術も必要だが、地道に新しい人間を増やす施策も重点的にお願いしたい。

【A氏】

東川町などは農業の担い手として地域おこし協力隊を使っているが、そういった考え方もあるのではないかと。

【事務局】

地域おこし協力隊の活用は重要と考えているが、東川町とは異なり、3大都市圏からしか呼べないことなども踏まえて、活用方法について今後も検討していきたい。

【F氏】

基本目標2のICTパーク事業について、中心市街地活性化協議会のけん玉のイベントで、ICTパークを使用したが、1日の使用料が15万円であった。音響・映像関係の会社の方は、とても素晴らしい施設とも言っており、eスポーツの会場としてだけではなく、音楽イベントなどいろいろな利用方法を検討できるのではないかと。また、民間の会社が利用しやすいよう環境を作っていたらいい。

【事務局】

eスポーツ以外でも利用の方法はあると考えているので、関係機関とも検討していきたい。

【D氏】

ICTに関係なく、会議等で使用するニーズもあると思うので、そういった団体にも周知していくのがいいと思う。

【進行役】

使用方法など知らない方がたくさんいると思うので、ぜひ周知いただきたい。

【G氏】

基本目標4の環境に関する施策について、具体的な施策の内容について伺いたい。

また、旭川市では今後、デザイン都市の国際会議や全国菓子博覧会も予定されており、結びつけていってほしい。

【事務局】

今年度、試験的な取組として旭山動物園にペレットストーブを導入し、せん定枝やジャイアントミスカンサスなどをペレットにし、暖房に活用している。また、今年度から新たに担当課長も設置するなど関連する取組を進めている。

【B氏】

基本目標1と4について、数年前から助産院での出産が旭川市では出来ない状況で、市民から要望書が提出されているが、変化がない状況。出産の選択ができるということは旭川市にとって大きな価値になると思っている。そこで、旭川市として、出産から育児までは何歳までを想定しているか。

【事務局】

具体的に何歳までが育児という想定してはいない。

【B氏】

周りからは、妊娠・出産時は手厚くなったという声が多い。一方で、一番お金がかかる高校生・大学生の時は支援がなくなってしまうという声もある。安心して継続的にサポートできる旭川市を目指してほしい。

また、基本目標4について、地域主体のまちづくりに向けて、今年度からデジタル回覧板が始まっていると思うが、まだ地域では始まっていないため、スケジュールを伺いたい。また、地域情報共有プラットフォームは何を目指しているか。

【事務局】

1点目の助産師については、具体的な動きがない状況となっている。

2点目の育児の部分については、中学生までのこども医療費の無償化や、大学進学の際の返還不要の奨学金を創設し、重点的に取り組んでいる状況。

プラットフォームのデジタル回覧板については、6月からモデル町内会において、試験的に導入しており、今年度には本格的な利用開始としたいと考えている。また、数値目標は決めてはいないが、最終的には、利便性等が良くなり、町内会加入率が上がるようなものになればと考えている。

【D氏】

基本目標4のLCCの国際線・国内線の誘致強化について、旭川空港は乗り入れるための地上スタッフが足りていない状況がある。市としても、誘致活動に動くことも必要であるが、そういった課題があるということ認識してほしい。

また、本懇談会も女性が1人のため、もっと女性の意見も取り入れて、出産・子育て・結婚まで考えるべき。今後、人手不足が顕著になっていく中で、子育てがしやすい企業などをアプローチしてもらって、企業同士で人材循環させていくのも必要であるため、施策の中にそういったものも取り入れていただきたい。

【事務局】

旭川空港の課題について、北海道エアポートと連携して取り組んでいく。また、女性の参加に

についても、市としても課題意識を持っており、今年度から女性活躍推進部を新設し、企業への課題解決に向けた取組みを進めている。

【D氏】

何か制度を作って終わりにしてほしくない。現在も育児休暇制度はあるけれども、それを使える職場が少ないため、使える職場を多くして欲しい。

【事務局】

課題解決や手段等について、検討していきたい。

【進行役】

ぜひ、次の改訂に反映させていただきたい。

【B氏】

本懇談会でも女性が増えていけばいいと思う。今回、いじめ防止対策の条例が施行されたが、いじめの防止に向けて地域の見守りが非常に重要であるため、ぜひ、地域の方がかかわりを持てるような施策を検討いただきたい。

【事務局】

地域の関わりは非常に重要にであると考えており、今後に向けて検討していきたい

(4) その他

【事務局】

今後のスケジュールについて、資料3に基づき説明した。

その他については、意見なし

3 閉会